

# 1 ジェンダーの視点で考える 要配慮者の困りごと&対応のヒント

## わたしたち、避難所にはいられない？



### 要配慮者って？

災害時に自分の身を守るための適切な行動が取りにくく、手助けが必要な人のこと

要配慮者…高齢者・障害者・傷病者・妊産婦・乳幼児・外国人など  
その他、子ども(児童・生徒・学生・受験生)・アレルギーのある人・性的マイノリティの方などへも配慮が必要!



●「障害」の表記について●  
「障害」は社会が作り出すものとしてとらえ、社会が変わることを問題解決の方向に据えることを意識し、この表記を使用しています。

### 緊急時には？

必要な支援・望む支援は一人ひとりちがいます

被災者一人ひとりの抱える問題の「違い」に配慮した支援が必要です。

#### 情報は分かりやすく！

外国人・障害者等 みんなへ  
情報を分かりやすく伝える工夫を

多言語

大きな文字

イラストや図

音声

女性であり要配慮者であることは情報が伝わりにくい、困りごとが伝えにくい状況で、孤立したり何らかの被害に遭いやすくなったりする心配が…

#### 妊産婦や乳幼児が必要な支援は？

妊産婦が安静にゆっくり休める場所、  
安心して授乳やオムツ替えが出来る場所、家族風呂などの工夫を

新生児や乳幼児のお風呂、大勢と一緒に難しい…



妊産婦の体調は外から分かりにくい！  
妊娠初期はお腹も目立たず、つわりが大変な時もあります。  
出産後の身体は、全治約3か月相当。精神的にも不安定な時期。



#### 女性の身の回りの介助は女性で！

女性の要配慮者の介助、とくに着替え・トイレ・入浴は、原則、女性による支援を！

必ず本人に意向を確認！



#### 性的マイノリティの人々も

男性・女性を問わない空間や支援を！

男女ではっきり分けられた支援に困ることも。

多目的  
トイレ・更衣室・シャワー

各自が自由に受け取れる支援物資の場



当事者や支援者が安心して集まれる場所を用意。

#### その他必要な配慮

乳幼児・子ども・高齢者・障害者等の  
託児・預かりの場・見守り支援が大切

物資を取りに行く、家を片付けることもままならない…



避難所では「周囲に迷惑が…」と気を遣いながら過ごすことも…

### いつもは？

地域にはどんな人がいる？ 女性であり要配慮者である人の声は届いている？  
一人ひとりの声を聴こう！

#### 支援が必要な人への対応を

食品や物資の受け渡し・情報を届ける仕組みなどを作っておこう

「移動できない」「周囲に迷惑がかかるから…」と支援が必要な人が在宅避難や車中避難を余儀なくされることも。

在宅・車中避難になりうる人を把握し物資等を適切に発注。受け渡し方法を相談しておく。

在宅・車中避難者自身も物資の運搬や配布に協力！



#### 私たちぬきに私たちのことを決めないで

支援が必要な人の声を聴き、一人ひとりを理解しよう

困りごとは本人にしか分からない！

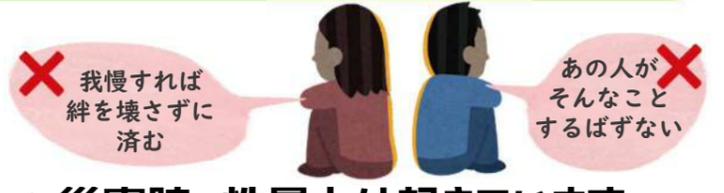
思い込み  
偏見 × 孤立



一人ひとりの声を聴き、尊重しよう

## 2 ジェンダーの視点で考える 性暴力をゼロにするためのヒント

# 災害時に性暴力なんて…あるの？



**緊急時には？** 「まさか、そんなことが??」と思うかもしれませんが、**災害時、性暴力は起きています**

### 避難所等の環境作りが大切

仮設トイレは人目のある場所へ配置  
プライバシー確保、暗がりや死角をつくらない

仮設トイレは常に明るく  
可能であれば  
男性用・女性用を離して配置!

女性 TOILET

男性 TOILET

離して

安心して着替えや授乳ができる場所を用意!

### 防犯対策で安全確保

見回り体制を作る、防犯用ホイッスルを身につけるなど  
対策を!

見回りは複数の人で  
就寝場所・女性専用  
スペース等を強化!

見回りは  
避難所に限らず  
被災地域も。

大声が出なくても、  
ホイッスルなら  
大丈夫!

### ポスターで注意喚起!

避難所に性暴力防止に関するポスターを掲示

岡山市の小・中学校、公民館を中心とした指定避難所約170か所の「避難所運営ボックス」に、←ポスターを配置しています。

子どもに分かりやすく  
作られたポスターも  
あります。→  
作成:NPO法人ぶるすあは

### 相談体制を整えよう

「なんか変??」と思ったらすぐ相談  
そのための相談窓口を用意

まず相談を

男性相談  
窓口も

●あなたが相談を受けたら●

慌てず一呼吸おいて、  
落ち着いて話を聴きましょう。  
どうするのが良いか、本人の気持ちを  
大切にしながら、  
一緒に考えてくれる専門の相談先がある  
ことを伝えましょう。

性暴力の被害は  
性別・年齢を問わず  
起きています。

「みんな大変なんだから、少々のは我慢を…」と不安下では社会全体が暴力に寛容になり、暴力が見えづらくなります。

## いつもは? 日頃から、性暴力は見過ごさない! という意識を

### 知ることが予防につながる

性暴力とは、本人が望まない性的な行為  
「性暴力が起きる可能性がある」ことを知って日頃から地域で  
性暴力を防ぐ対策をすることが、災害時の被害を防ぐことにつながります。

熊本地震から間もない16年4月下旬、  
指定避難所で家族から離れて寝てい  
た10代少女が、寝ていた布団の中で  
ボランティアの青年から性暴力を受け  
た。少女は助けを求める声を出せず、  
恐怖と痛みを耐え続けた。  
少女の母親は「地震直後の混乱のま  
ただ中で、娘が被害に遭うとは想像  
できなかった。娘の傷は一生消えな  
い」と憤る。

2018/3/29 西日本新聞より抜粋

研修  
「災害と性暴力」

私たちの地域では、  
性暴力を  
ゼロにします!

性暴力をうやむやにしないため、  
地域でできる啓発を!

### 専門の相談先を知ろう

性暴力は平常時でさえ、訴えにくいもの  
個人情報が知られることを恐れて相談しにくいことも  
専門の相談先の周知も大切です。

性暴力被害はこちらへ電話を!

# 8 8 9 1  
(内閣府 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター)

# 8 1 0 3  
(警察庁 性犯罪被害相談電話)

SNSで相談もできます!  
「Cure time」キュアタイム  
(内閣府 性暴力に関する SNS 相談)

一人ひとりの  
声を聴き、尊重しよう

### 3 ジェンダーの視点で考える 子どもたちの困りごと&対応のヒント

# 子どもは…？

我慢しろ！  
うるさい！って  
言われても…

居場所も  
ないし…

## 緊急時には？

子どものことは、後回しにされがちですが、  
子どもには安心・安全な居場所と、声を聴いてくれる人が必要です

### 大人が子どもの声を聴く工夫を！

隣にいて折り紙をしながら…など話しやすい空気を

困ってること  
ある？

もし叶うなら、  
どんなこと  
して欲しい？

えーとね…

「男の子は泣かない！」  
「女の子だから手伝いなさい」  
など、性別によって決めつけしないで！

### 居場所が必要！

避難所でも子どもの居場所を！  
「遊びの場」・「勉強の場」をつくるのが大切

子どもたちにも大きなストレスがかかっています。  
言葉ではうまく表現できない事もあります。  
落ち着いて過ごしたり、発散したりできる場所を  
用意しましょう。

中高生の居場所も  
大切！

### 物資配布にも配慮を

物資配布の窓口にお姉さん・お兄さん的な存在の人も  
配置するなどの工夫を

女の子は  
生理用ショーツのニーズが伝えにくいなど  
女性であり、子どもであることから、  
「声をあげにくい」「大人とのパワーバランスがある」  
二重の意味で支援から置き去りになりやすい。

### ごっこ遊びでのりこえる

子どもの「地震ごっこ」などは正常な反応、経験を理解し  
乗り越えようとしています

地震だ～

ゆれるぞ！

女の子はこの遊び、  
男の子はこのおもちゃなど、  
性別を限定しないで、  
子ども本人の気持ちを尊重しよう。

ただしあまりにも固執している時は、  
PTSD の場合もあるので専門家に相談を。

## いつもは？

中学生・高校生など、いざとなったら頼れる若者と連携を！

### 子どもは地域の宝！

地域防災に子どもの声をとり入れよう

性別も  
いろいろ

夜、暗くなると  
すごく怖いよ

男も着替えが  
できる場所が  
あった方がいいよ

私だって  
みんなの前で  
着替えたくない！

幼児や  
小学生も

中高生も

大学生も

### 何ができるか、自分で考える力を

防災について、また日常生活でも、何ができるか  
子ども自身が考え行動できる場や仕組み作りを

子ども目線で  
防災 MAP 作ろう！

例えば地域で  
「子どもまちづくりクラブ」を  
作って、安心・安全な街を  
つくる活動を展開する。

子ども  
まちづくり  
クラブ

町内会に  
提言してみようか？

避難所運営ゲーム  
やってみよう！

### 子どもを尊重し適切な関係を築くには

不適切な言動で子どもを傷つけたり、信頼を裏切ったりすることのないよう、心がけましょう

子どもに勝手に触れたり  
抱きしめたりすること…  
大人は子どもが喜んでい  
ると思って…  
その意味を感じるのは  
子どもたち自身です。

子どもの意向を  
無視して  
許可なく触れない

他者の目が  
届くところで  
子どもと接する

子どもに不安を  
与えないように！

公私を混同した  
交流はトラブルに  
結びつくことも

個人的に  
子どもと連絡を  
とらない

自分のことは  
自分でできるよう  
見守ることが基本

食事・着替え・  
入浴・トイレなど

一人ひとりの  
声を聴き、尊重しよう

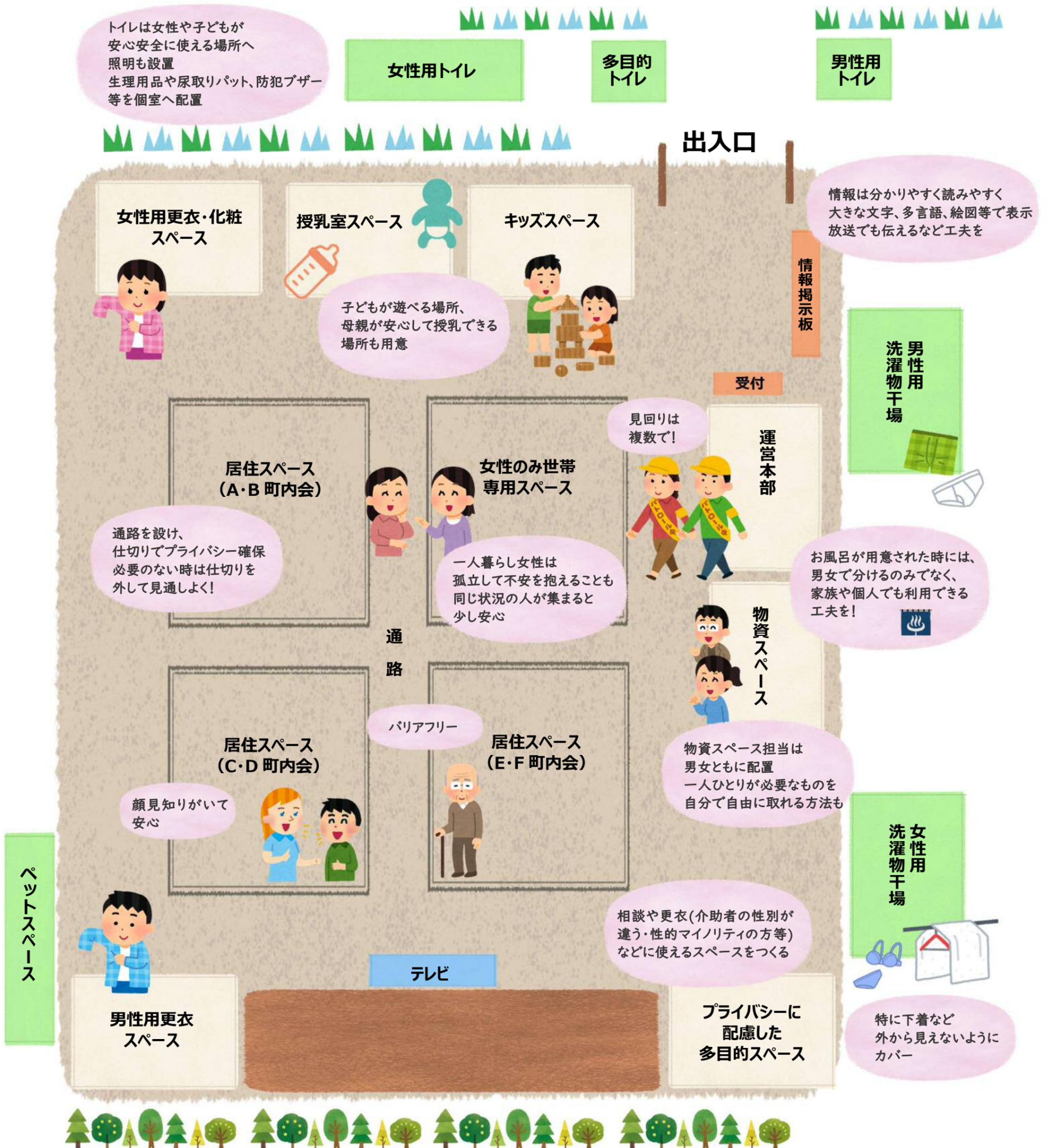
4 ジェンダーの視点で考える 誰もが安心して過ごせる避難所運営のヒント

# こんな避難所だったらいいな！

## みんなが安心できる避難所は？

多様な意見が受け入れられる地域では、多様な人が尊重される避難所に！

日頃の地域の姿が、災害時にはそのまま避難所の姿に反映されます。



5 ジェンダーの視点で考える 誰もが安心して過ごせる避難所運営のヒント

# 避難所運営のポイントは？



## 運営本部

性別で役割を決めない！

責任者は男性でしょう

女性は炊き出しね～

運営メンバー

声の反映されにくい女性や多様な視点から意見を取り入れます！

炊き出しチーム

性別に関わらず協力！



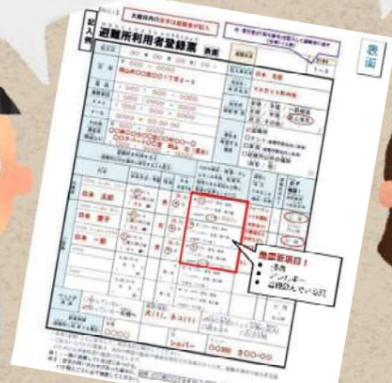
お互いに弱音を吐きながらも皆で協力できるチームで、運営しましょう！

## 受付担当

情報の取扱いに配慮を

DV やストーカー被害などで避難所にいることを公開できない人もいます

安否情報公開の可否は必ず確認しよう



出所：岡山市防災マニュアル詳細版 第6版 P37

## 物資担当

個々のニーズに合わせて細やかに

受付は男女ともにいた方が、下着など言い出しやすいね

生理用ナプキンは必要な人が使えるようトイレに置くのがいいね！

言いにくい場合もあるので本人が直接必要なものを選ぶのもいいですね



## 相談やおしゃべりできる場を！

孤立や不安を解消

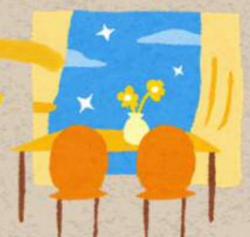
なんだか不安で

妻の介護を  
してまして…

うちもじゃ



女性が困りごとや本音を話せる場所♪  
男性が不安や心配事を話せる場所♪  
性的マイノリティの方や、一人暮らしの若年女性などが、同じ状況の人と交流できる場所♪  
など



## トイレは？

照明・防犯ブザーの設置  
生理用品・尿取りパットの配置も



女性用 3



対 男性用 1



& 多目的トイレ

人道支援の国際基準を定めた『スフィア・プロジェクト』によると、男女の体の仕組みやトイレに要する時間の違いを考慮し、トイレの比率は女性用3：男性用1とされています。

性的マイノリティの方や、性別にかかわらず介助者も一緒に入ることのできる、誰でも使用OKなトイレも必要です。

## 在宅・車中避難者は？

同じ被災者！

在宅・車中避難者を把握して物資を適切に発注必要な方に渡すよう準備します



「移動できない」、「周囲に迷惑かも…」と在宅・車中避難を選ぶしかない要配慮者は多いです。支援環境が整えば、心身の健康に良いことも！

6 ジェンダーの視点で考える 一人ひとりの復興と回復へ寄り添うヒント

# みんな頑張っているのに 私だけ置いてけぼり…



## 復旧は早いけど…復興への長い道のり

被災者は一人ひとり個別に違う事情を抱えています

### 「置いてけぼり感」…解決の糸口は？

被災者は人知れず自分を責めたり辛さを抱えたりしていることも…

現実の生活は避難先にあっても、消えない避難元への想い。

自分は頑張れない

被災から、長い「仮」の生活…自分の身の置きどころがないような心細さ…

前を向いていけない…

復興のスピードに、気持ちが追いつかない

周りと比較してしまう…



安心して悩みや被災体験を語れる場、話しやすい関係づくりを

本人も地域に気持ちを伝えることができる…

どんな話でもきくよ

地域の声掛け、被災者を受け入れる雰囲気。

困ったらいつでも言っているんだ…



被災者が主体！  
いつまでも支援を受けること、被災者のレッテルに苦しむことも。被災者自身ができること、できる力を持っていること、一人ひとりを尊重することを大切に。

### 被災者それぞれの背景に思いを寄せて…

「家族がバラバラに…」 「あの災害さえなかったら」 行きつ戻りつするしんどい気持ちに寄り添えたら…

私は避難したい、でも夫はこの地を離れたくない…その間で揺れる子ども

「長男の嫁なんだから…」と反対されたが、逃げるように子どもと避難した

避難による家族の変化からか、夫のDVで危険な状況に

一人ひとりが納得して歩いていくためには？



ケア役割を抱えながら…

家事・育児・介護等の負担の多くが、平常時以上に女性にかかってきます。

家事・育児・介護のためパートだったが、こんな時は非正規から解雇…

負担…

子どもや高齢者の預け先が再開されない仕事に行けない！

ひとり親家庭で…シングルで…何もかも頑張ってる



性別により当然のように役割を分けるのではなく、家事労働等ケア役割は、誰もが自分のこととして向き合う社会に！

## いつもから できること

### いざという時、使える支援を知っておく

災害時の支援は？ 日頃から情報を集めておこう！

ポイント

1. 火災保険・地震保険の見直し  
意外と自分の契約内容が分かっていない？  
どんな時にどんな保証が受けられるのか確認を！
2. 市役所の支援情報  
災害時には各種支援情報が市のホームページや広報紙で確認できます。
3. 「被災者再建ノート」  
生活再建にむけ公的支援等必要な情報を整理し、専門家との継続した相談に役立ちます。(日本弁護士連合会作成)
4. 「被災者支援カード」  
災害時に使える支援の内容や条件など、分かりやすくまとめています。(弁護士作成・「被災者支援カード」で検索)

### 自分が自分の生き方を考えられる社会に

「すべての声」反映されてる？ 一人ひとりを尊重できる社会に！

「地域を代表して」、「家族を代表して」だと、女性・子ども・障害者などの声が見落とされがちに。



一人ひとりの声は違うよ！

世帯主対象の聞き取り、世帯単位の支援では、世帯の抱える事情により、個々人に必要な支援が届かないことも。それぞれが大切な一人として認められる社会は？ そのシステムはどうあるべきか…。疑問を持ち、立ち止まって考えることも必要です。

一人ひとりの声を聴き、尊重しよう

# 7 ジェンダーの視点で考える 地域防災のヒント

## 誰一人取り残さない防災について 日頃から大切なこと



**地域防災では** 被災者一人ひとりの抱える問題は違う！「違い」に配慮した支援につながる取り組みを！

### 地域のメンバーを知ろう

**地域のメンバーは多様！お互いに知っておくことが大切**

民生委員をしています  
大学生一人暮らしです  
地域防災力を高めるには、様々な立場の人の参画・多様な視点で取り組むことが大切  
足が不自由なんです  
小さな子どもが3人いて  
高齢者の二人暮らしです

### 地域の役員・責任者に女性を！

**地域の半分は女性！女性特有の困りごとは女性が知っている！**

自主防災組織の中心メンバー 男性ばかりになってない？  
女性の声を地域防災に反映させましょう  
“男らしさ”の思い込み「俺がやらねば」「女らしさ」の思い込み「控えめに」に囚われていませんか？  
責任 控え目

### 寛容な社会・寛容な地域

**声かけ・受けとめができる地域を！**

子どもが落ち着かなくて…  
どう接するのがいいかな？  
ニホンゴ、ヨクワカリマセン…  
町内会の集まりで話してみよう！  
一人暮らしで避難所も不安  
大事なことはどうやって伝えたらいいかな？

### 知識がなければ、意識をもてない！

**ジェンダーと防災に関する知識を得て、意識し、行動に結び付ける**

● 防災講座の講師を派遣します！ ●

対象：岡山市内の地域の団体が実施する防災講座  
講師：防災専門家  
内容：防災ゲーム、地震や水害などの防災、家庭で出来る対策など

詳細は  
岡山市危機管理室へ問い合わせを！  
☎086-803-1082

研修  
「地域防災力を高めるジェンダーの視点」

ぜひ、ご活用ください！  
町内会・自主防災組織・子ども会の勉強会に最適♪  
ジェンダーや多様性の視点を入れて！とリクエストできます。

## こんな工夫をしている自主防災会や町内会があります♪

### 盛り上がる！町内会の集まり

女性が出席しやすい時間帯の設定  
意見の出しやすい雰囲気作り

女性が少人数では意見が言いにくいです。

町内会役員 3割以上女性にした

会合の時間は相談して決める

少人数のグループに分かれると、意見も出やすく盛り上がる！

### 多様な人材が活躍する防災体制

自主防災組織に様々な立場を入れ横断的に組織化

防犯会 町内会 民生委員  
自主防災組織  
婦人会 子ども会 PTA 愛育委員

### 性別での役割分担をしない

災害時はどんなメンバーで活動するか分からない！  
防災訓練では、役割を男女で分けず、いろいろな人がいろいろな活動に携われるように！

平日の昼間だと、地域にいる人は限られるね

運営本部

# もっと詳しく 知りたいときは?

- 男女共同参画 ジェンダー
- 要配慮
- 性暴力
- 子ども
- 復興
- 防災一般
- 多言語
- 学び

各団体の活動内容はこの分類の限りではありません。見ていただきたい情報を中心にまとめてみました。詳細は各ホームページでご確認ください。

**男女**

◆内閣府男女共同参画局◆  
災害対応力を強化する女性の視点  
～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～  
第3部便利帳「備蓄チェックシート」「避難所チェックシート」等



**男女** **学び**

◆減災と男女参画研修推進センター◆  
男女共同参画/ジェンダーの視点を取り入れた防災・復興の対策と体制を普及させていくための研修、研修教材の開発、情報発信など



**性暴力** **要配慮** **学び**

◆しあわせなみだ◆  
2047年までに性暴力をゼロにすることを目的に活動



**要配慮**

◆DPI 女性障害者ネットワーク◆  
国内外の『障害女性』に関わる様々な問題に取り組むリーフレット 避難所などでの障害がある人への基礎的な対応「あなたのまわりにこんな方がいたら」



**要配慮** **子ども**

◆母と子の育児支援ネットワーク◆  
災害時の乳幼児栄養の支援情報  
災害時の乳幼児栄養オンライン相談 (LINE 相談)



**子ども** **要配慮** **性暴力**

◆ふるすあるは◆  
精神障がいやこころの不調、発達凸凹をかかえた家庭や、さまざまな事情の中で、頑張っている子どもたちを、絵本やウェブサイトなどの情報コンテンツを通して応援

避難所での性暴力防止ポスター



**男女**

◆熊本市男女共同参画センターはあもにい◆  
熊本地震を経験した私たちが提案する男女共同参画の視点に立った防災ポイント BOOK



**要配慮** **子ども**

◆アレルギー支援ネットワーク◆  
アレルギーっ子の災害対策



**性暴力** **学び**

◆NHK◆クローズアップ現代  
【性暴力を考える vol.58】  
災害時の性被害  
東日本大震災で見えてきた被災地の声



**要配慮**

◆岩手レインボーネットワーク◆  
LGBTなどの多様な性を生きる人々と防災について考えるにじいる防災ガイド



**復興** **男女** **学び**

◆ほっと岡山◆  
東日本大震災の避難者へのサポート・ご相談・情報提供・政策提言などをして、人を繋げる



**男女** **要配慮** **性暴力** **子ども** **学び**

◆CAP プロジェクトおかやま◆  
すべての人が安心して暮らせる社会を目指すための、ジェンダー視点の学びを!



**子ども** **学び** **多言語**

◆セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン◆  
生きる・育つ・守られる・参加する「子どもの権利」を実現するために活動。子どもの貧困や虐待等の課題に取り組むほか、自然災害における緊急・復興支援を行う

子どものセーフガーディング 防災(災害リスク軽減)等



子どもにやさしい防災



◆岡山市◆

**要配慮** **多言語**

要配慮者支援ガイド (日本語版・多言語版) 

災害時の発達障害児・発達障害者支援に関するリーフレット (日本語版・多言語版) 

自閉症の人たちのための防災・支援ハンドブック 

**一般** **多言語**

岡山市防災マニュアル 

岡山市防災マニュアル (多言語版) 

岡山市避難所運営マニュアル 

マイ・タイムライン作成支援ツール 逃げキッド 

ハザードマップ (日本語版・多言語版) 

**復興**

岡山市支援情報 

**学び**

岡山市危機管理室 防災講座講師派遣  
086-803-1082



**一般**

◆JVORD◆  
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク  
災害への備え ノウハウ集



**復興**

◆日本弁護士連合会◆  
被災者再建ノート



**一般**

◆国土交通省◆  
国土地理院地図  
現地の標高が瞬時にわかる。



川の防災情報  
川の水位・洪水予警報・レーダー雨量・河川カメラ画像

